

# 天文資料

2026年 2月号

令和7年度 第11号 (2月号)

令和8年1月25日

発行：佐世保市少年科学館

佐世保市少年科学館

星もらじ

## ＜明るい星の多い冬の星空＞

日が沈み空が暗くなり始めた頃、南西から西のやや低い空に土星が見えています。同じ西の空では、水星が20日に東方最大離角となつて見頃を迎えますが、土星よりもさらに低い位置です。西側が地平線近くまで見渡せる場所で観察しましょう。

すっかり暗くなった宵の時間帯には、天頂から南の空にかけて、冬の星座を彩る明るい星々が多く見られます。その中に混じって、高い空でひとときわ明るく輝いているのが木星です。また2月は、南に低く見つけづら

い、りゅうこつ座の1等星カノープスを観察するのに良い時期です。こちらは、南の地平線まで見える空で観察しましょう。

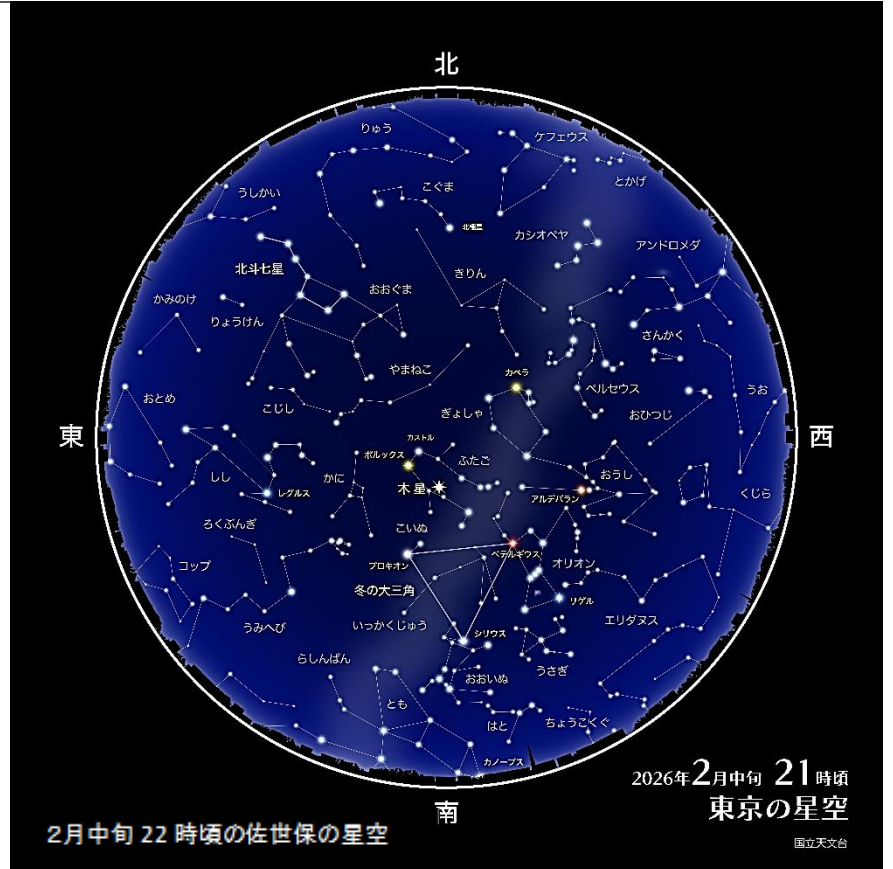
また、3月3日には、日本全国で皆既月食が見られます。楽しみですね。



2月の  
星空情報

- ・2日 満月
- ・3日 節分
- ・4日 立春
- ・9日 下弦
- ・11日 建国記念の日
- ・17日 新月／金環日食(日本では観測できません)

- ・17日 雨水
- ・20日 水星が最大離角
- ・23日 天皇誕生日
- ・24日 上弦
- ・26日 水星が留



## ☆2月の天体観望会のお知らせ☆

観覧料：小中学生150円、高校生以上320円

★7日(土)18:00～(受付中)＜月・木星・すばる・冬と春の星座＞

★21日(土)18:30～(2/7(土)から受付開始)＜月・木星・すばる・冬と春の星座＞

電話予約制(23-1517) 定員50名程度

※当日が雨天、曇天の場合はプラネタリウムで星座解説を行います。